

私がえらぶ、図書館のほん

寒い季節になりましたが、みなさんいかがお過ごしですか？

図書館では、昨年12月にジュンク堂書店新宿店で「私がえらぶ、図書館のほん。学生選書ツアー2010」を行いました。

今号では、選書ツアーに参加した6名の学生さんたちが選んだ本を紹介합니다。いつもの図書館の本とは、ちょっと違う本がたくさん！ 私たち図書館員も、毎回どんな本が選ばれるのか、楽しみにしているんですよ。

参加してくれた学生のみなさん、ありがとうございました♪

今号を見て、選書ツアーに興味を持った方、次回にぜひご参加ください！

お知らせ

ブックログで紹介中

選書ツアーで選ばれた全60冊、コメントつきで紹介しています。

みんなのコメント、ぜひぜひチェックしてください！

<http://booklog.jp/users/gakugeilib>

図書館HPトップにバナーもありますよ♪

↓↓ ブックログ



図書館1階で展示中

図書館1階では、みんなが作ったポップつきで本を展示中。

展示中の図書はすべて、貸出もできますよ♪

図書館開館カレンダー

1月							2月						
月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
					休	休		1	2	3	4	5	6
休	4	5	6	7	8	9	7	8	9	10	11	12	13
10	11	12	13	休	休	休	14	15	16	17	18	19	20
17	18	19	20	21	22	23	21	22	23	24	休	休	27
24	25	26	27	28	29	30	28						
31													

□(土日休日延長試行): 10:00~19:00 ■(1/4、2/28): 8:30~17:00
 ○(2/11): 8:30~19:00 △(2/24): 8:30~13:00
 グリーン(2/19,20,27): 10:00~17:00 休:休館日

東京学芸大学附属図書館 library@u-gakugei.ac.jp
平成23年1月20日発行

●選書ツアー参加者インタビュー●

📍教員志望の人が、選書ツアーに参加するメリットって？

自分の興味ではなく、他の人のために本を選ぶということは、偏りがあってはいけません。教育関係の本を書いている人には、現場の経験がない大学教員のほか、校長、現場教師など、様々な立場や考え方を持つ人がいます。

若い教師は、自信がないために「これだ!」と思った一人だけに偏りがちですが、偏りなく幅広い立場を知るきっかけとして、選書ツアーを経験してみるといいと思います。

教職大学院教育実践創成専攻1年

📍就活関係の本をたくさん選んでいましたね。

日頃から図書館には、就活関係の本があるといいと思ってました。就活関係の本って、先輩から譲ってもらうことが多いんですよ。絶対必要だけど、買うほどではないんです。だから、図書館にちゃんと置いてもらって、みんなで使えるといいと思って選びました。

普段は、先輩に薦められた本とか、アマゾンランキングが上位のものを選んだりしてます。内容的には、試験問題と先輩たちの体験談みたいなもの、どちらも必要ですね。

K類多言語多文化専攻4年

📍図書館の本を選ぶのは難しいと思いませんか？

図書館でバイトをしているのですが、バイトをしていなかったら、図書館にどんな本があるのか分からなかったと思います。あと、どんな本が必要なのかも分からなかったです。

なので、例えば、小平の図書館では予約人気ランキングをやっていますが、選書ツアー前に貸出ランキングとか、今のニーズが分かるものを教えてあげるといいんじゃないかと思いました。

大学院総合教育開発専攻1年

→インタビューの詳細は、HPで👉

まめリブ編集長の編集後記

学生選書ツアーについて思う

今回の選書ツアーでは、参加者に「関心のあるキーワード」と「附属図書館で不足している分野」について、事前に意見を書いてもらいました。選書ツアーは、図書館の図書が充実するだけでなく、参加者の学生が「自分が関心あるテーマ(キーワード)について知見を深められる本を探す経験をするとともに参加者間でそれぞれが選択した本について意見交換してもらう」ことも目的としています。

本はひとりで知るより他者と共有すると多様な価値が発見でき、異なった読み方ができます。



私がいんだ、図書館のほん

選書ツアー参加者が選んだ本、全60冊を紹介します。POP は、ポップつきで展示中!



「残りの90%のためのデザイン」展をもとにしたこの本は、普段私たちが認識している意味ではなく、「意識的な問題解決」のためという観点から制作されたデザインを扱っている。不自由のない生活には決して気づくことのできない本当の意味でのデザインは必見です!

【k類多言語多文化専攻 4年】

■世界を変えるデザイン シンシア・スミス 504/SMI



「読書の死」とは何か。今、私は当たり前のように読書をしているが、そのような状況こそが「読書の死」であるらしい。「文字・識字」、学校教育の問題なども語られ、読書という行為はこうも大きなかかと衝撃を受ける。

【大学院美術教育専攻 1年】

■読書の死と再生 堀切直人 019/HOR

■名画で読み解くハブスブルク家12の物語 / 中野京子	288.49/NAK
■まんが反資本主義入門 / エセキエル・アダモフスキ	309/ADA
■ヘッテルとフェーテル / マネー・ヘッター・チャン POP	338.18/MON
■スリー・カップス・オブ・ティー / グレグ・モーテンソン	372.257/MOR
■バロック期の都市風景画を読む / 萩島哲	518.8/HAG
■都市風景画を読む / 萩島哲	518.8/HAG
■乳酸菌：健康をまもる発酵食品の秘密 / 小崎道雄	588.51/KOS
■風景画 / エリカ・ラングミュア	723.3/LAN
■創造の狂気ウォルト・ディズニー / ニール・ゲイブラー	778.77/GAB

■デンマークのにぎやかな公共図書館 / 吉田右子	016.23/YOS
■本は絶対、1人で読むな! / 中島孝志 POP	019.12/NAK
■読書と読者 / キャサリン・シェルド	019/ROS
■展示の政治学 / 川口幸也	069.5/KAW
■教育方法としてのドラマ / J・ニーランズ	375/NEE
■Paramodel / パラモデル	702.07/PAR
■芸術環境を育てるために / 松井利夫	704/MAT
■Natural architecture / Alessandro Rocca	719/ROC
■新しい芸術療法の流れ クリエイティブ・アーツセラピー / 関則雄	146.8/SEK



「人生とは旅であり、旅とは人生である。」日本サッカー界のパイオニアは、旅人となり、政界各地で自分探しを続けた。その学びや経験の数々が収録されている。沢本耕太郎とのセッションも必見である。世界観が変わる一書。

【教職大学院教育実践創成専攻 1年】

■The journey (nakata.net.06-08) 中田英寿 783.47/NAK



案外就活をしても、どれだけ採用テストの種類があるか知りませんでした。特にwebテストが数種類もあったとは驚きでした。加えて、最後の袋とじの部分のどの企業がどの採用テストを実地しているかの表が役にたつと思います。

【k類多言語多文化専攻 4年】

■この業界・企業でこの「採用テスト」が使われている! SPIノートの会編 307.8/SPI

■池上彰の学べるニュース3：国際問題・外交編 / 池上彰	304/IKE
■先生のための統計学入門 / 石橋信夫	371.8/ISH
■ミドル教師：ニューリーダーとしての自己啓発ノート / 向山行雄	374.3/MUK
■プロ教師のコンピテンシー：次世代型評価と活用 / 加藤明	375.1/KAT
■学習課題の提案と授業設計：小学校社会科 / 岩田一彦	375.312/IWA
■社会科の新しい基礎・基本：緊急課題の授業モデル / 北俊夫	375.312/KIT
■結果責任が問われる「Cランクの子」への対応策.3 社会科編 / 谷和樹	375.312/TAN
■Google SketchUp日本語版パーフェクト 入門編 / 阿部秀之	501.8/ABE
■命を救う「ふれあい囲碁」 / 安田泰敏 POP	371.4/YAS

■これが本当のSPI2だ! 2012/ SPIノートの会 津田秀樹	307.8/SPI
■CAB・GAB完全突破法! 2012 / SPIノートの会	307.8/SPI
■これが本当のテストセンターだ! 2012 / SPIノートの会	307.8/SPI
■日本でいちばん働きがいのある会社 / 和田彰	335.21/WAD
■フラット化する世界 上・下 / トーマス・フリードマン	361.5/FRI
■creator：クリエイターをめざす人のための就職情報読本 2012 / 日本広告制作協会	674.4/NIH
■市場占有率 2011年版 / 日経産業新聞 POP	675/N73
■ディズニー化する社会 / アラン・ブライマン	689.5/BRY



2010年大会を最後にして終了した漫才No.1決定戦M-1。その2000年～2009年までの戦いをお笑い評論家がおふぎけではなく真面目に、そして詳細に分析している興味深い一冊。

【大学院総合教育開発 2年】

■M-1戦国史 ラリー・遠田 779.14/RAR



化石が「かつて生息した生物の痕跡」であることはよく知られていると思う。しかし、化石を扱う学問は、化石学ではなく「古生物学」という。この何気ない違いには、化石、地層、そして地球史という難解なものへの、科学者たちの苦闘があった。「誤解」多きテーマとその研究史を、丁寧に読み解く一冊。

【大学院理科教育専攻 1年】

■化石の記憶：古生物学の歴史をさかのぼる 矢島道子 457/YAJ

■生の嘆き ショーペンハウアー倫理学入門 / ヒヤイル・ハウスケー POP	134.6/HAU
■自我の源泉 近代アイデンティティの形成 / チャールズ・テイラー	141.9/TAY
■なぜ、すべてがすでに消滅しなかったのか / ジャン・ボドリアール	361.1/BAU
■働くことがイヤな人のための本 / 中島義道	366.04/NAK
■就活エリートの迷走 / 豊田義博	377.9/TOY
■芸術哲学 / ジンメル	701.1/SIM
■愛と死と音楽：西欧ロマン派の心 / M.グリオン	762.06/BRI
■狂気の西洋音楽史 / 椎名亮輔	762.3/SHI
■ワーグナー事典 / 三光長治	762.34/TOK

■理系人に役立つ科学哲学 / 森田邦久	401/MOR
■おもしろ実験と科学史で知る物理のキホン / 渡辺儀輝	420/WAT
■原子(アトム)への不思議な旅 / 三田誠広	429.1/MIT
■学びなおしの天文学 基礎編、応用編 / 松森靖夫	440/MAT
■フーコーの振り子 / アミール・D・アクセル POP	448.3/ACZ
■ゲームで学ぶ地震のふしぎ / マッシェ・レヴィ	453/LEV
■新鉱物発見物語 / 松原聡	459/MAT
■単位の成り立ち / 西條敏美	609/SAI